

京大リウマチ通信

第7号 京都大学医学部附属病院 リウマチセンター



2012.8.20. 文責：伊藤 宣



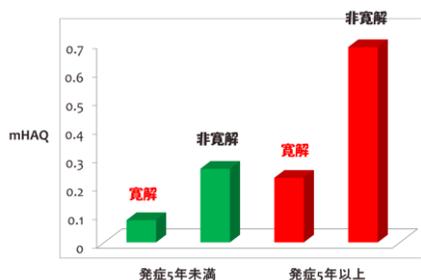
リウマチの機能評価とは

1) リウマチの治療目標では、「機能的寛解」が最も大切

関節リウマチの治療法は、この10年で目覚ましく進歩しました。そしてそれとともに、治療目標もより高いものを目指すことが可能になりました。その目標を、私たちは「寛解（かんかい）」という言葉で表現しています。すなわち、病気が治ったというわけでもなく、安定した落ち着いた状態である、という意味です。この「寛解」でも、症状が落ち着いている「寛解」（臨床的寛解）に加えて、X線撮影で見える関節の破壊が進まない「寛解」（画像的寛解）、さらに、日常生活において難しいと感じることが増えない「寛解」（機能的寛解）が目標となっています。逆に言うと、日常生活の中で困っていること、難しいと感じることをたびたび評価して、治療に結びつけることが必要です。

2) HAQ (health assessment questionnaire) とは

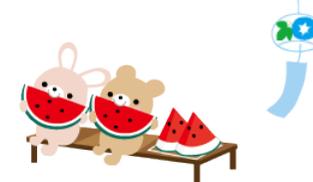
この、日常生活で難しいと感じることの判断に使われる代表的な方法に、HAQ（ハック）と呼ばれる方法があります。これが、毎回受診のたびに、患者さんにあらかじめ書いていただいているものです（右ページ）。京大病院リウマチセンターの調査でも、同じ「機能的寛解」でも、リウマチになって5年未満の方と、5年以上の方ではmHAQ（HAQの簡略版）の数値に違いがあることがわかりました（左図）。



質問は以上です。ありがとうございます。○欄は医師が数値です。記入しなくても大丈夫です。

すなわち、治療をなるべく早く始めて、HAQの値を低く保つことを目標にしたほうが良いということになります。

このHAQは世界的に認められた手法で、全世界で同じ物が使われています。日常生活における代表的な動作がほとんど含まれており、これにより日常生活で感じる困難さを簡単に評価することができます。毎回の受診のときに、ご自分の日常生活の様子を振り返る材料にいただければ、と思います。



3) VAS (visual analog scale) とは？

それでは、このページでHAQの表の上にある棒線は何でしょうか。

これは、VAS（バス）と呼ばれるもので、患者さんの全身の具合を、棒の上に線を引くことで示していただくものです。ご自身の今の体調（風邪など、ほかの病気や体調の変化によるものを除きます）を、簡単に示すものです。これも患者さんの現在の調子を知るのに、非常に大切なものです。

しかし、少しわかりにくい（つけにくい）ものでもあります。たとえば、よくある間違いが、「今は調子がふつうだから、真ん中につけました」というケースです。「真ん中につける」ということは、一番悪かったときと一番よかったときのちょうど真ん中ということであって、必ずしも「体調がふつう」とは限りません。多くの方にとって、「体調がふつう」という状態は、落ち着いていて悪くない状態ではないでしょうか。すなわち、線はもう少し左側（いい状態に近い側）につくと思います。自由に線をつけていただいて構いませんが、誤解なく、つけていただくようお願いいたします。

EULAR 2012

2012年6月ドイツのベルリンで、ヨーロッパリウマチ学会が開かれました。ここ数年の目覚ましいリウマチ治療の進歩を反映して、大変充実した学会でした。関節リウマチの診断と治療に重要な判断材料となる、X線写真で見られる「骨びらん」の定義、最近重要と考えられている、血液検査の「抗CCP抗体」陽性の患者さんに対する治療方針の報告、新たに開発が進んでいる新薬、JAK阻害薬についての研究成果など、さまざまな報告が行われていました。今後のリウマチ治療の進展に期待がもたれます。



ベルリン 学会会場

リウマチ教室

2012年5月23日、第3回リウマチ教室を開催しました。今回は、倉敷広済病院医療ソーシャルワーカー、新名早希子さんをお招きして、患者さんが負担する医療費について、公的な補助制度について、ご説明をいただきました。リウマチ治療の進歩にしたがって、治療費も高くなりつつあります。高騰する治療費を、公的な支援を使ってどのように抑えていくのか、非常に重要な問題です。もしこの点についてご質問がある方は、京大病院医療福祉掛でも相談にのっていただけますので、主治医を通じて予約をおとりください。

また次回リウマチ教室を、**9月19日(水)14:30**から開催予定です。

今回は、「**リウマチに関する内服薬**」のテーマで、京大病院薬剤師の老本さんにお話しただく予定です。リウマチ治療に内服薬は欠かせません。どのような効果があって、使い方どのような注意が必要なのか、わかりやすい説明をしていただけるものと期待しています。

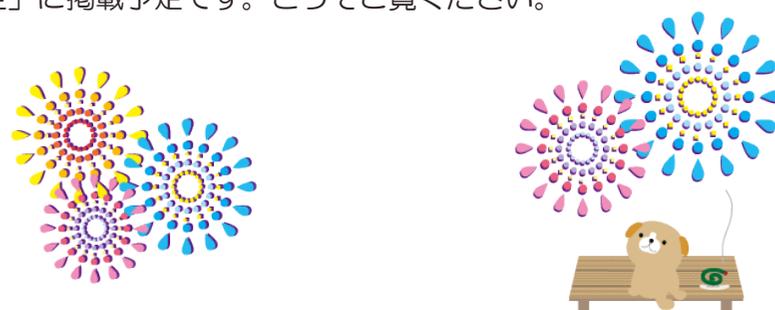
どうぞ奮ってご参加ください。



第3回リウマチ教室風景

リウマチ友の会講演会

日本リウマチ友の会京都支部では、1年に2回講演会を開いています。今年は、友の会京都支部ができてから45年の記念講演会ということで、6月3日二人の講師が招かれて講演会が開かれました。京都第一日赤の福田互先生と、京大病院リウマチセンターの伊藤宣が講演を行いました。多くの方にご参加いただき、講演会の後には、質問と答えの時間も設けられました。この、質問とそれに対する答えについては、リウマチ友の会京都支部が発行する支部報「青空」に掲載予定です。どうぞご覧ください。



診療受付時間

午前8時30分～午前11時00分

| 診察室 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------|----|-------------|----|----|----|
| 108号室 | 橋本 | *橋本 (午前) | 藤井 | 橋本 | 藤井 |
| 109号室 | | 布留(午後) | 伊藤 | 伊藤 | 布留 |

※平成24年6月5日～10月31日まで

リウマチに関するご質問、「リウマチ通信」や「リウマチ教室」で特集してほしいテーマがありましたら、外来主治医または外来秘書にお気軽にお申し出下さい。

お問い合わせは…

京都大学医学部附属病院 リウマチセンター
代表電話 075 (751) 3111 予約電話 075(751) 4891
〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54

